

「国際禅研究プロジェクト」活動報告 (2020年度後期)

1. 研究組織ならびにプロジェクト会議

○研究組織

全体の統括を行う研究代表者の下に、「中国における禅の形成過程の解明」を目的とする第Ⅰ部会と、「日本における禅思想の受容過程の解明」を目的とする第Ⅱ部会を設置し、以下のような人員配置を行った。

研究代表者 伊吹 敦（東洋大学教授）

第Ⅰ部会

1. 初期禅宗文献のテキスト研究
伊吹 敦
程 正（駒澤大学仏教学部教授）
2. 唐から宋に至る禅思想史の解明
伊吹 敦
齋藤智寛（東北大学文学研究科准教授）
柳 幹康（花園大学文学部准教授）
3. 禅問答・公案の研究
土屋太祐（新潟大学人文社会教育科学系准教授）
ディディエ・ダヴァン（国文学研究資料館研究部准教授）

第Ⅱ部会

1. 奈良・平安時代における禅受容過程の解明
伊吹 敦

2. 鎌倉時代における禅の受容過程の解明

館 隆志（駒澤大学仏教学部講師）

何 燕生（郡山女子大学短期大学部教授）

3. 禅文化の研究

原田香織（東洋大学文学部教授）

村松哲文（駒澤大学仏教学部教授）

4. 日本禅の海外への展開伝播過程の解明

伊吹 敦

研究支援者 金子奈央（中村元東方研究所専任研究員）

水谷香奈（東洋大学東洋学研究所客員研究員）

○プロジェクト会議

研究活動を円滑に行うために、国際禅研究プロジェクトでは定期的に会合を開いている。本年度後期（10～3月）に開催したプロジェクト会議は以下の通りである（回数は年度の通算）。

第1回 日 時：2020年11月7日（土） 13：00～13：45

会 場：オンライン開催（Webex利用）

第2回 日 時：2020年12月12日（土） 12：15～13：00

会 場：オンライン開催（Webex利用）

2. 定例研究会の開催

本年度後期（10～3月）に本プロジェクトが開催した定例研究会での研究発表は、以下の通りである（回数は部会ごとの年度の通算）。

第I部会

第1回 「初期禅宗史研討会II」

日 時：2020年11月7日（土） 14：00～16：15

会 場：オンライン開催（Webex利用）

程 正（駒澤大学）

「俄藏敦煌文献中に新たに見出された禅籍について」

伊吹 敦（東洋大学）

「『師資血脉傳』に見る『傳法寶紀』の影響と神會の獨
自性」

第2回（「陳金華先生講演会」と併催）

日 時：2020年12月12日（土） 13：00～14：00

会 場：オンライン開催（Webex利用）

伊吹 敦（東洋大学）

「『六祖壇經』の成立に関する新見解

—敦煌本『壇經』に見る三階教の影響とその意味」

3. 公開講演会の開催

本年度後期（10月～3月）に本プロジェクトが開催した公開講演会は、
以下の通りである。

講演会

「陳金華先生講演会」

日 時：2020年12月12日（土） 14：00-16：30

会 場：オンライン開催（Webex利用）

陳 金華（プリティッシュコロンビア大学）

「從“武周帝國”（655-705）到“安史之亂”（755-763）：

禪宗的歴史性轉向與現代化契機」